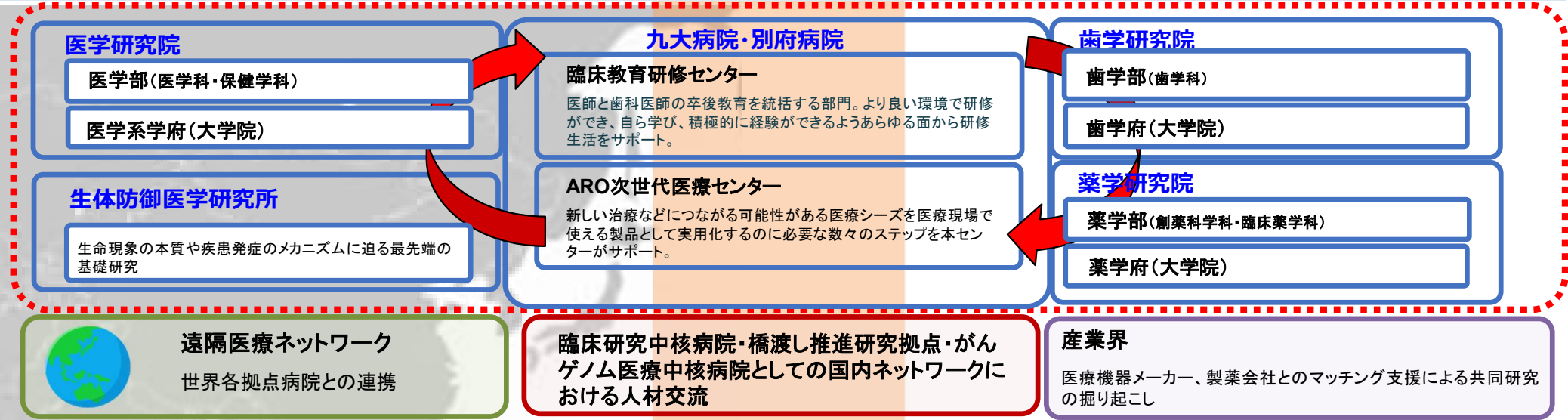




基礎的研究から高度先進医療を開発する応用研究まで革新的な成果を目指すため、医・歯・薬各分野の研究者が集中する九州大学病院キャンパス全体でのスケールメリットを活かし、部局を超えた協力により世界トップレベルの成果を創出し、未来の医療・医学を担う若き人材を育成する。



診療現場における支援機能を強化 × 健康医療DX推進戦略

- 診療科の枠を超えた若手研究者による横断的組織の設置
- 臨床研究支援人材のキャリアパス構築
- ICTやDXの活用による研究支援業務の効率化
- Near Peer Learning 体制構築による教員の負担軽減
- 臨床実習コーディネータ配置による確実な医行為経験

事業の効果

- 資料となる医師主導治験、c. 悉皆性の高いレジストリー研究、と定義し、それぞれが3、5、10本以上となることを目指すことで、医療の質の向上や治療の早期開始、研究者の育成に貢献。
- 医学生によるコモンな疾患の経験と医行為の経験の着実な実施と医学生の教育スキルの向上、学修履歴の可視化による学生の臨床参加型臨床実習の充実。さらにDX化等による教員負担の軽減も同時に実現。また教育業績の可視化によるClinical Education trackの構築を、全国の大学のモデルとしての波及を目指し、最終的に医療水準の向上に貢献。